**新型コロナ感染症拡大予防に対応した高齢者疑似体験の進め方**

**１．体験セットの準備**

　①セットは１人1セット利用が望ましい。困難な場合は体験者を少人数とする。

　②これまでも感染予防のため耳栓・ゴム手袋は個別配布（使い捨て）としていたが、可能なら、布手袋と手のひらサポーターも体験者人数分を用意して使い回しを避ける。

**２．体験の進め方**

**［会場設営等］**

①研修参加者は講師・インストラクターを含め全員マスクを着用する。

　②手指消毒剤と除菌シート類、ゴミ袋はグループごとに用意する。

　③会場のドアは開放し、換気に努める。

　④密とならないような会場設営を行う。

　⑤体験プログラムを工夫（種類を多く）して、感染予防に努める。

**［体験中］**

①セット装着直前に手指消毒を行う。

　　＊インストラクターは体験者ごとに手指消毒する。

　②介助者役は密着せず（ソーシャルディスタンス）、ほぼ見守り役に徹する。

　　段差などの危険個所では優しく声掛けを行う。

　　＊インストラクターも同様に間隔を取る。事前解説で注意喚起を十分に施す。大きい声は避ける。

　③セットを外す際は、手袋類から外す。すべて外したら手洗い・手指消毒を行う。

　　＊手袋類は手首箇所を持ちひっくり返す。

　④白内障体験メガネは体験者ごとに除菌シートで消毒する。

**［メンテナンス］**

①使用済の手袋・手のひらサポーター・ベストは、界面活性剤で洗濯する。

　②メガネ、その他のサポーター、重り類は除菌シートで拭く。

　　＊サポーター類は洗濯すると接着剤がはがれる場合がある。

**３．問い合わせ**

　　 新型コロナに対応した体験・研修方法、セットの取扱い等については下記にお問い合わせください。

**公益社団法人長寿社会文化協会**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8

TEL 03-5405-1501 FAX 03-5405-1502